

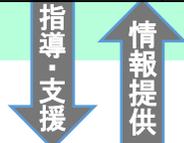
長野県 ICT 教育推進センター組織体制

長野県 ICT 教育推進センター 事務局

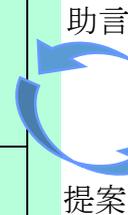
センター長（信州大学教育学部 次世代型学び研究開発センター長 村松浩幸 教授）

	業務	検討項目
義務教育	学習指導・教員研修	<ul style="list-style-type: none"> ICT を活用した個別最適な学びや協働的な学びの研究・普及 デジタル教科書、デジタル教材の研究、情報提供 AI ドリル、プログラミング教育の研究、情報提供
	先進校研修	<ul style="list-style-type: none"> ICT 先進校（つくば市立義務教育学校）※週 3 勤務 つくば市教育委員会 ※週 2 勤務 研修先での実践を情報発信
高校教育	学習指導・教員研修	<ul style="list-style-type: none"> 学校訪問による授業支援（東北信担当、中南信担当） ICT 活用授業研究、EdTech 教材研究、情報提供 ICT パイロット校の研究推進支援、知見の情報発信
	機器整備	<ul style="list-style-type: none"> 校内 ICT 環境整備、生徒用端末整備 メンテナンス、更新 統合型校務支援システムの利用法普及
特別支援	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの特性に応じた ICT 活用授業研究・普及 インクルーシブ教育の研究・普及 特別支援学校 ICT 環境整備・児童生徒用端末整備
共通	管理・広報	<ul style="list-style-type: none"> 市町村 ICT 支援員連携支援、情報共有 クラウド ID 管理、セキュリティーポリシー、著作権 学習支援ポータルサイト運用、広報活動

専任配属 9 名体制



支援



長野県 ICT 学び推進協議会

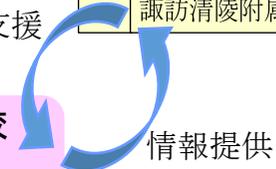
- ・県の ICT 教育の方向性の共有
- ・先進的な実践の共有・普及

	メンバー	役割
有識者グループ	東原 義訓 信州大学教育学部 特任教授 佐藤 和紀 信州大学教育学部 助教 両川 晃子 信大医学部精神医学教室公認心理師	<ul style="list-style-type: none"> ・推進センター業務への助言 ・国の動向や他県の実践等の情報提供 ・研修講師
	実践グループ ・ICT 教育に先進的に取り組む市町村の担当者 須坂市、長野市、佐久市、東御市、松本市、塩尻市、岡谷市、伊那市、小海町、喬木村 ・先進的に取り組む学校 【校長】 長野市立共和小学校、上田市立第六中学校、佐久市立野沢中学校、飯田市立鼎中学校、塩尻市立木曾嶺川小学校 【担当者】 須坂市立東中学校、長野市立朝陽小学校、佐久市立中込中学校、諏訪清陵附属中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・県の ICT 教育推進方向の検討、共有 ・互いの実践内容の紹介 ・全県の小中学校をリードする実践の積上げ

県立中学校・高等学校・特別支援学校

市町村教育委員会、小・中・義務教育学校

※EdTech 教材等を活用した個別最適な学びや、クラウドを活用して仲間と協働する学びを研究し、全県に普及・拡充



県の目指す目標

「深い学び」を実現するための目標

各教科等での深い学び

- ・各教科等の見方・考え方
- ・各教科等の固有の知識
- ・主体的・対話的で深い学びによる授業改善

子どもたち全員が、クラウドによる「**同時共同編集**」ができる

使いながら
慣れていく



授業中での
自然な溶け込み



自分のペースに
合わせて学びを創造



教育クラウド研修・出前講座 + モデル授業の提案と事例収集 + DXお悩み相談室

ICT環境整備

GIGAスクール構想本格運用時チェックリスト

- ・セキュリティポリシー改訂
- ・個人情報保護条例への対応
- ・整備された端末の持ち帰り
- ・情報通信ネットワークの充実



長野県ICT教育推進センター

ICT端末を使って身に付ける児童生徒のスキル体系表

令和二年～三年

黎明期

発展期

成熟期

令和四年～五年

学校種	小学校			中学校	高校
	低学年	中学年	高学年		
端末導入	自分のIDやパスワードを使える	IDやパスワードが大切であることを理解している	IDやパスワードの重要性を理解し、管理できる		
端末操作	タッチパネルを使って操作できる	ローマ字を使って、キーボード入力ができる	キーボードによる正確な入力ができる	キーボードによる十分な速さでの正確な文字入力ができる	端末によってキーボードのみならず(フリック、音声など)情報の入力ができる
授 業 へ の 同 時 共 同 編 集 の あ る 授 業	検索・動画視聴	先生と一緒に検索、閲覧できる	インターネット上の情報の閲覧・検索ができる	インターネット上の自分の目的に合った情報をANDやORで検索ができ、複数の情報から、真偽や信ぴょう性を検討できる	
	データ管理・共有	自分で撮影した写真や動画のデータにアクセスすることができる	撮影した写真を加工することができる(トリミング・文字入力など)	ファイルを新しく作ったり、項目分けしたりしてクラウドに保存できる	クラウドにあるデータに必要に応じて、アクセスできる
	双方向性のやり取り	写真を送受信することができる	チャットや友だちにコメントをつけることができる	離れた場所にいる人とWeb会議システムでつながり、学校の端末を使って、クラウド上でファイルの受け渡しができる	どこからでもWeb会議システムでつながり、クラウド上でデータ処理できる
	クラウド利用	自分が撮った写真やテキストボックスを配置し、グループでスライドをつくることができる	自分の考えをシートやチャットに共有しながら、友だちの意見を参考に気付いたり、深めたりできる	友だちとシートやチャットで情報交換しながら、グループでテーマに沿ったスライドをつくることができる	問題解決に向け友だちと情報交換する方法を選択しながら、クラウド上でスライドやレポートを作成、発信できる
同時共同編集を取り入れた授業改善	義務教育では、悉皆研修の教育課程研究協議会でのモデル授業提案や事例収集、高校教育では、ICT教育パイロット校19校による先端教育の研究から、各教科の特質や学習過程を踏まえて、ICTを学習ツールの一つとして積極的に活用し、資質能力の三つの柱をバランスよく伸ばすことができる				

県の目指す目標

「深い学び」を実現するためのクラウドによる同時共同編集マンダラチャート

長野県ICT教育推進センターでは、長野県ICT学び推進協議会の委員である、小・中学校の先生方の意見を取り入れ、クラウドによる学びが実現するために必要な要素を、マンダラチャートにまとめました。学校によって学ぶ子供たちの様子は様々です。クラウドによる同時共同編集を行い「深い学び」を実現するためには、自校の子供たちの学びの様子に合わせ、どの要素からはじめていけばよいか、学校ごとに先生方が話し合いをして、決めていくとよいでしょう。

「深い学び」を実現するためのクラウドによる同時共同編集マンダラチャート



県の目指す目標

教員のICT活用技能レベル向上と支援・研修のスケジュール

「子どもたち全員が、クラウドによる「同時共同編集」ができる」を実現するために、先生方のICT活用技能レベル向上のスケジュールを下の図のようにまとめました。なお、この図の下には、県教育委員会が主催するクラウド研修等の出前研修、全県の教員が研究授業に参加する教育課程研究協議会にて、1人1台端末を用いたモデル授業の提案など、研修する場を数多く用意しました。令和3年から本格的にはじめ、令和5年には全教員が授業の中でICT活用ができるようにステップアップしていく支援を行います。

令和3年度の目標：子どもたち全員が、クラウドによる「同時共同編集」ができる
教員のICT活用技能レベル向上と支援・研修のスケジュール

使いながら
慣れていく



STEP 1
ICT活用研修会を実施して
使いたい先生が活用している

STEP 2
ICT活用事例を校内で共有し、活用していなかった先生が活用するようになる

使いながら
かかわっていく



STEP 3
全先生方が授業内あるいはどこかの場面でICTツールを使ったことがある状態

STEP 4
全先生方が毎月どこかの授業の中でICTを使う場面を取っている

日々の授業に
溶け込んでいく



STEP 5
全先生方が毎授業の中で、5分以上はICTを使っている場面がある

自分のペースで
学んでいく



R3 4月 8月 9月・10月 3月 / R4~ / R5~

